

平成30年度 神奈川県犯罪のない 安全・安心まちづくり功労者表彰・奨励賞

活動紹介



【犯罪のない安全・安心まちづくり功労者表彰】

椛沢 悦子 様（横浜市中区）
澤崎 ゆめ子 様（藤沢市）
瀬谷区防犯指導員連絡協議会 様（横浜市瀬谷区）
竹山連合自治会 様（横浜市緑区）
万福寺町内会 様（川崎市麻生区）

【犯罪のない安全・安心まちづくり奨励賞】

石井 清江 様（葉山町）
原 幸雄 様（相模原市緑区）
鋼管通2丁目町内会 様（川崎市川崎区）
港北区防犯カメラ設置合同委員会 様（横浜市港北区）
宮下自治会防犯パトロール隊 様（相模原市中央区）

犯罪のない安全・安心まちづくり功労者表彰受賞者

功労者表彰は、長年にわたり、犯罪のない安全・安心まちづくり活動に尽力し、その功績が特に顕著な県内で活躍されている個人又は団体に贈られる賞で、平成30年度は2人の方と3団体が受賞されました。

かばさわ えつこ 椋沢 悦子様（横浜市中区）

防犯キャンペーン、防犯パトロール、町内会や老人会における防犯講話などを多年にわたり実施し、地域の安全・安心まちづくりに大きく貢献してきました。

平成21年からは、山手防犯指導員会副会長として、地域における防犯活動の中心的な役割を担っており、地域住民から多大な信頼を置かれています。

さわざき ゆめこ 澤崎 ゆめ子様（藤沢市）

防犯キャンペーン、防犯パトロールなど様々な防犯活動を多年にわたり実施し、地域の安全・安心まちづくりに大きく貢献してきました。

平成28年からは、善行地区防犯協会の会長として、パトロール方法等の説明を先頭に立って行うなど、他の参加者の手本として活躍しています。

せやくぼうはんしどういんれんらくきょうぎかい 瀬谷区防犯指導員連絡協議会様（横浜市瀬谷区）

毎週1回の青色防犯パトロールをはじめ、年間を通じた防犯パトロールや防犯キャンペーン、夏休み・年末年始の合同パトロールなどを多年にわたり実施し、地域の安全・安心まちづくりに大きく貢献してきました。

たけやまれんごうじちかい 竹山連合自治会様（横浜市緑区）

竹山地区の4つの自治会の連合自治会として傘下の各自治会を取りまとめ、多年にわたり会員による平日の朝・夕における防犯パトロールを実施するとともに、防犯啓発資料の配布を行うなど、地域の安全・安心まちづくりに大きく貢献してきました。

まんぶくじちやうないかい 万福寺町内会様（川崎市麻生区）

環境美化を兼ねた歩行パトロール、月2回の青色防犯パトロールを多年にわたり実施するほか、地区内に27台の防犯カメラを設置するなど、防犯環境に配慮したまちづくりに尽力し、地域の安全・安心まちづくりに大きく貢献してきました。

犯罪のない安全・安心まちづくり奨励賞受賞者

奨励賞は、犯罪のない安全・安心まちづくりのモデルとなるような実践的な活動で、地域社会への貢献度が高いと認められる県内で活動している個人又は団体に贈られる賞で、平成30年度は2人の方と3団体が受賞されました。

いしい きよえ 石井 清江様（葉山町）

毎朝欠かさず片道40分の小学生の通学に救急袋を携帯して付き添い、地域の子どもの安全を見守り続けています。

また、通学時に交わす会話は一緒に通学する児童の心の拠り所にもなっています。

はら ゆきお 原 幸雄様（相模原市緑区）

毎朝の児童の小学校登校時の見守り、防犯キャンペーン、防犯パトロールなどの様々な防犯活動に積極的に取り組んでいます。

防犯パトロールの際には、警察と連絡を密にして発生場所を分析し、危険箇所を把握しながら効果的なパトロールを行っています。

こうかんどおりにちょうめちょうないかい 鋼管通2丁目町内会様（川崎市川崎区）

毎月2回の防犯パトロールをはじめ、一人暮らしの高齢者全世帯訪問活動を通じて、「花いじり挨拶活動」と銘打ち、プランターの配布による「ながら防犯」を行うほか、高齢者安否確認名簿を作成するなど、高齢者が住みやすいまちづくりを目指し、区役所、保健師、警察等も含めた「見守り支えあい活動」を行っています。

こうほくくぼうはんかめらせっちごうどういいんかい 港北区防犯カメラ設置合同委員会様（横浜市港北区）

企業等から集めた賛助金等を原資に港北区内の自治会等に防犯カメラ設置補助金を交付している「港北安心・安全コミュニティー創生協議会」と「港北防犯協会」が協力・連携して、港北区内の防犯カメラの設置推進に係る活動に取り組んでいます。

防犯カメラを設置する自治会、警察署、区役所等と連携し、効果的な防犯カメラ設置に努めており、平成29年度までに24台の防犯カメラが設置されました。

みやしもじちかいぼうはんぱとろーるたい 宮下自治会防犯パトロール隊様（相模原市中央区）

警察から提供される犯罪情報をもとに、犯罪発生地域を踏まえた防犯パトロールなどに精力的に取り組むとともに、活動員内で情報共有するために毎月会議を開催するなど、防犯意識と防犯活動効果の向上に努めています。